

平成20年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 モリテックス  
 代表者 代表取締役社長 仁科 秀逸  
 (コード番号 7714)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画本部長 原田 国重  
 (TEL 03-3401-0984)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,700	80	60	50	3.61
今回発表予想(B)	7,755	130	157	167	12.02
増減額(B-A)	55	50	97	117	——
増減率(%)	0.7	62.5	161.7	234.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	7,922	156	189	124	9.03

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	700	700	580	41.92
今回発表予想(B)	15,300	260	280	230	16.55
増減額(B-A)	△700	△440	△420	△350	——
増減率(%)	△4.4	△62.9	△60.0	△60.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	16,121	320	360	184	13.34

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	100	80	80	5.78
今回発表予想(B)	6,826	111	108	154	11.08
増減額(B-A)	△174	11	28	74	——
増減率(%)	△2.5	11.0	35.0	92.5	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,733	75	134	104	7.54

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	740	700	600	43.37
今回発表予想(B)	13,800	300	280	280	20.15
増減額(B-A)	△700	△440	△420	△320	——
増減率(%)	△4.8	△59.5	△60.0	△53.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	14,004	149	241	5	0.41

## 修正の理由

## 1. 第2四半期連結累計期間

当第2四半期業績においては、当社の主力事業であるマシンビジョンシステム部門において、一部の電子部品実装装置メーカーからの受注が第2四半期会計期間の途中まで好調であったことや、機能性材料事業において各種商材の売上が拡大したことなどにより、売上高

は計画通りの進捗となりました。利益面については、経費の抑制を主とした各種施策により、営業利益、経常利益、当期純利益が計画を上回る事となりましたので、平成21年3月期第2四半期業績予想数値の修正を行うものであります。

## 2. 通期

通期業績については、サブプライムローン問題に端を発した国際的な金融市場の混乱は現在も続いており、今後実体経済への波及が懸念される状況となって来ております。このような状況の中、企業の設備投資は縮小し、また、個人消費も落ち込みが見られるようになってきていることから、当企業集団の主要販売先である半導体製造装置業界、電子部品実装装置業界、液晶製造装置業界の各業界においては、設備投資が大幅に抑制されることが予想されております。

以上の状況を踏まえ、平成21年3月期の通期業績予想数値を修正するものであります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上